(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2008-101284
(P2008-101284A)
(43)公開日　平成20年5月1日(2008.5.1)

(51)Int.Cl.			F I			テーマコード（参考）
A41C	3/10	(2006.01)	A41C	3/10	A	3B131
A41C	3/00	(2006.01)	A41C	3/10	B	
			A41C	3/00	A	

審査請求 未請求　請求項の数 5　ＯＬ　（全 11 頁）

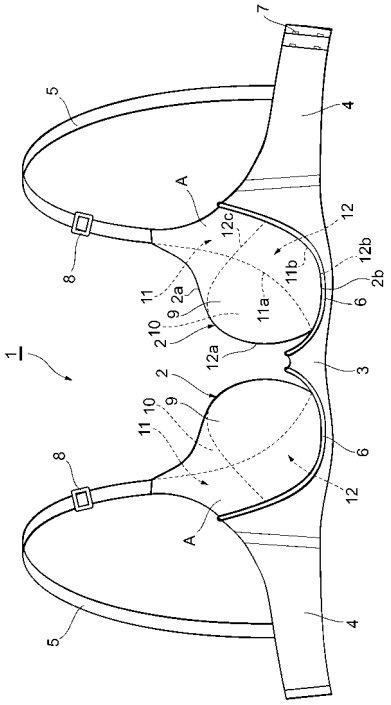
(21)出願番号　特願2006-282862 (P2006-282862)
(22)出願日　平成18年10月17日 (2006.10.17)

(71)出願人　306033379
株式会社ワコール
京都府京都市南区吉祥院中島町２９番地
(74)代理人　100088155
弁理士　長谷川　芳樹
(74)代理人　100092657
弁理士　寺崎　史朗
(72)発明者　品川　佳央
京都府京都市南区吉祥院中島町２９番地
株式会社ワコール内
(72)発明者　山口　順子
京都府京都市南区吉祥院中島町２９番地
株式会社ワコール内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】カップ付き女性用衣類

(57)【要約】
【課題】　乳房のボリュームを纏まり良く持ち上げることにより、美しい乳房のシルエット及び豊かな谷間を形成することを可能にしたカップ付き女性用衣類を提供する。
【解決手段】　ブラジャー１は、左右一対のカップ部２と、カップ部２の下縁に設けられた円弧状のワイヤ部６と、カップ部２の上端部に連結された肩ストラップ５と、左右一対のカップ部を連結する土台部３とを備える。カップ部２は、外側の表布９、肌側の裏布１０、表布９と裏布１０との間に介在されたホルダ１１、及び裏布１０の肌側に設けられた乳房押上部材１２からなる。乳房押上部材１２は、カップ部２における乳房の前下部分及び中間部分を覆うように形成されている。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
乳房の脇側上部寄りである脇上部分、前中心側下部寄りである前下部分及びこれらの中間部分を覆うように形成された左右一対のカップ部と、
前記カップ部の上端部にそれぞれ連結された肩ストラップと、
前記左右一対のカップ部を連結する土台部と、
前記カップ部と前記土台部の間に介在された円弧状のワイヤ部と、を備え、
前記カップ部は、
前記脇上部分、前下部分及び中間部分を覆うように肌側に配置されて上縁が乳房のトップ部の上側を通るようにされたカップ布と、
前記脇上部分、前下部分及び中間部分を覆うように前記カップ布の外側に配置されて上縁が乳房のトップ部の下側を通るようにされたホルダと、
前記前下部分及び中間部分を覆うように前記カップ布の肌側に配置されて上縁が乳房のトップ部の上側を通るようにされた乳房押上部材とを有し、
前記カップ布と前記ホルダは、それらの下縁が前記ワイヤ部の前中心側末端より所定長さ後退した位置から脇側末端にかけて当該ワイヤ部に取り付けられ、それらの上端部が前記肩ストラップに連結され、
前記乳房押上部材は、その下縁が前記ワイヤ部の前中心側末端より所定長さ後退した位置から脇側に向かって一定の長さにわたって前記ワイヤ部に取り付けられ、保形性と復元性を有することにより乳房のトップ部近傍を押し上げる
ことを特徴とするカップ付き女性用衣類。
【請求項２】
前記カップの上縁部は、肌側に向けて湾曲していることを特徴とする請求項１に記載のカップ付き女性用衣類。
【請求項３】
前記カップ部において、前記ホルダの外側には、前記カップ布と前記ホルダとを覆う表布が更に設けられていることを特徴とする請求項１または２に記載のカップ付き女性用衣類。
【請求項４】
前記乳房押上部材において、乳房のトップ部より下側に対応する領域が最も厚く形成されていることを特徴とする請求項１～３のいずれか一項に記載のカップ付き女性用衣類。
【請求項５】
前記乳房押上部材は、前記カップ布に取り付けられた第１のパッドと、前記第１のパッドの肌側に着脱自在に設けられた第２のパッドとからなることを特徴とする請求項１～４のいずれか一項に記載のカップ付き女性用衣類。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、ブラジャー、水着等のカップ付き女性用衣類に関する。
【背景技術】
【０００２】
カップ付き女性用衣類の代表例であるブラジャーは、乳房をサポートする保護機能だけでなく、乳房を形良く整えて持ち上げるバストアップ機能をも有することが期待されている。そのため、従来から様々な工夫がされている。
【０００３】
例えば、特許文献１～３に記載されたブラジャーでは、カップ部の外側にホルダが設けられている。そして、ホルダにより乳房のボリュームを下側から持ち上げることで、乳房の形を整えると共に良好な着用感の維持が図られている。また、特許文献４～６に記載されたブラジャーでは、カップ部の肌側にホルダが設けられ、ホルダにより乳房のボリュームを上方に引き上げることで、バストアップが図られている。

【特許文献１】実用新案登録第２６００１８２号公報
【特許文献２】実用新案登録第２５７０７４６号公報
【特許文献３】特許第２５９８７５８号公報
【特許文献４】特許第２５７６９４９号公報
【特許文献５】特開平９－１３７３０５号公報
【特許文献６】特開２００６－６３４７０号公報
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかしながら、上記の文献に記載されたブラジャーは、ホルダにより持ち上げられた乳房のボリュームを纏まって、より美しい乳房のシルエット及び豊かな谷間を形成するのが困難であった。
【０００５】
本発明は、乳房のボリュームを纏まり良く持ち上げることにより、美しい乳房のシルエット及び豊かな谷間を形成することを可能にしたカップ付き女性用衣類を提供することを目的とする。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
本発明者らは、鋭意検討を重ねた結果、美しい乳房のシルエット及び豊かな谷間を形成させるためには、乳房のトップより下方で脇側（下脇）から乳房のボリュームを乳房の前中心側の上方向に押し上げると最も効果的であることを見出し、本発明を完成するに至った。
【０００７】
すなわち、本発明に係るカップ付き女性用衣類は、乳房の脇側上部寄りである脇上部分、前中心側下部寄りである前下部分及びこれらの中間部分を覆うように形成された左右一対のカップ部と、カップ部の上端部にそれぞれ連結された肩ストラップと、左右一対のカップ部を連結する土台部と、カップ部と土台部の間に介在された円弧状のワイヤ部と、を備え、カップ部は、脇上部分、前下部分及び中間部分を覆うように肌側に配置されて上縁が乳房のトップ部の上側を通るようにされたカップ布と、脇上部分、前下部分及び中間部分を覆うようにカップ布の外側に配置されて上縁が乳房のトップ部の下側を通るようにされたホルダと、前下部分及び中間部分を覆うようにカップ布の肌側に配置されて上縁が乳房のトップ部の上側を通るようにされた乳房押上部材とを有し、カップ布とホルダは、それらの下縁がワイヤ部の前中心側末端より所定長さ後退した位置から脇側末端にかけてワイヤ部に取り付けられ、それらの上端部が肩ストラップに連結され、乳房押上部材は、その下縁がワイヤ部の前中心側末端より所定長さ後退した位置から脇側に向かって一定の長さにわたってワイヤ部に取り付けられ、保形性と復元性を有することにより乳房のトップ部近傍を押し上げることを特徴とする。
【０００８】
本発明に係るカップ付き女性用衣類によれば、カップ部は、肌側のカップ布と外側のホルダとカップ布の肌側に配置された乳房押上げ部材とからなり、乳房押上部材の下縁はワイヤ部に取り付けられ、カップ布とホルダとは、それらの下縁がワイヤ部の前中心側末端より所定長さ後退した位置から脇側末端にかけてワイヤ部に取り付けられ、それらの上端部が肩ストラップに連結されているため、着用状態において、肩ストラップによる引き上げ力は、カップ布及びホルダを介して乳房押上部材に伝え、ワイヤ部を支点とする乳房押上部材を前中心側の上方向への持ち上げ力に変換する。このため、乳房のボリュームを下脇方向から前中心側の上方向に効果的に押し上げることが可能となる。
【０００９】
また、乳房押上部材の下縁は、ワイヤ部の前中心側末端より所定長さ後退した位置から脇側に向かって一定の長さにわたってワイヤ部に取り付けられているので、乳房押上部材の下縁の両端は、それぞれワイヤ部の前中心側末端と脇側末端とから一定の距離離れてい

る。これにより、肩ストラップからの引き上げ力は、ワイヤ部の湾曲によってワイヤ部に分散されず、カップ布及びホルダを介して集中的に乳房押上部材に伝え、効率よく乳房押上部材を前中心側の上方向への持ち上げ力に変換することができ、乳房押上部材を効率良く引き上げることができる。ここで、乳房押上部材において、前中心側の上方向への持ち上げ力により、ホルダと重なる部分では乳房のボリュームを押上げる力が生じ、乳房のボリュームを下脇からカップ部の前中心側の上方向に持ち上げることができ、ホルダと重ならない部分では、乳房押上部材の保形性と復元性による跳ね返す力が生じ、乳房のトップ部近傍のボリュームを押上げることができる。その結果、乳房のボリュームを確実に前中心側の上方向に移動させ、美しい乳房のシルエット及び豊かな谷間を形成することができる

【００１０】

さらに、カップ部における乳房の脇上部分に対応する領域はカップ布とホルダとからなるので、脇側へ逃げがちな乳房のボリュームを脇側で適度に受け止めて、前中心側に押し寄せる。従って、左右乳房のボリュームが横に流されず、前中心側で互いに寄り添うことで、乳房に膨らみを持たせて深い谷間を形成することができる。さらに、このように下脇から乳房のボリュームを前中心側の上方向に効果的に押し上げ、確実に谷間を造形することができるため、カップ部における乳房の前下部分及び中間部分に対応する領域を小さくすることが可能となる。その結果として、胸元を美しく見せることができると共に、優れた開放感をもたらす効果がある。

【００１１】

本発明に係るカップ付き女性用衣類において、カップの上縁部は、肌側に向けて湾曲していることが好適である。この場合には、横に流れがちの乳房のボリュームを前中心側で適度に受け止めて上方に寄せ上げることで、自然な丸みを造形することができる。

【００１２】

本発明に係るカップ付き女性用衣類において、カップ部において、ホルダの外側には、カップ布とホルダとを覆う表布が更に設けられていることが好適である。このようにホルダの外側にカップ布とホルダとを覆う表布を設けることにより、カップ部の美観を向上することができる。

【００１３】

また、本発明に係るカップ付き女性用衣類において、乳房押上部材において、乳房のトップ部より下側に対応する領域が最も厚く形成されていることが好適である。このようにすれば、乳房のボリュームを下方から前中心側の上方向に押し寄せることにより、乳房に豊かな膨らみを持たせてより自然なシルエットを造形することができる。

【００１４】

本発明に係るカップ付き女性用衣類において、乳房押上部材は、カップ布に取り付けられた第１のパッドと、第１のパッドの肌側に着脱自在に設けられた第２のパッドとからなることが好適である。この場合には、必要に応じて第２のパッドを取り付けたり、はずしたりすることにより、乳房の膨らみを調整することができる。

【発明の効果】

【００１５】

本発明によれば、乳房のボリュームを纏まり良く持ち上げることにより、美しい乳房のシルエット及び豊かな谷間を形成することを可能にしたカップ付き女性用衣類を提供することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１６】

以下、添付図面を参照して、本発明の好適な実施形態であり、カップ付き女性用衣類の一つであるブラジャーについて説明する。なお、以下の説明において、上下、左右及び前後方向は、着用者から見た方向である。

【００１７】

（第１実施形態）

図１は第１実施形態に係るブラジャーを示す正面図であり、図２は図１のブラジャーの肌側を示す斜視図であり、図３は図１のIII－III線に沿った断面斜視図である。ブラジャー１は、ワイヤフォーム型ブラジャーであって、着用者の乳房を覆うように形成された左右一対のカップ部２を備える。カップ部２の上縁２ａは凸形状に湾曲して形成され、その下縁２ｂは、乳房のバージスラインに合わせるように湾曲して形成され、土台部３に縫着されている。従って、この一対のカップ部２は、土台部３により互いに連結されている。

【００１８】

カップ部２の上端部は、縫着により肩ストラップ５に連結されている。カップ部２と土台部３との間には、形状記憶合金あるいは樹脂製のワイヤ６ａ（図３参照）からなると共に、円弧状に形成されたワイヤ部６が介在されている。土台部３の脇側は、後背部に延びる左右一対のバック布４に縫着されている。この一対のバック布４は、伸縮性の繊維素材からなり、その後背側の端部に設けられたホック７により係脱自在に連結されている。

【００１９】

肩ストラップ５は、伸縮性の織布のような布地を紐状に成形、縫製して形成され、カップ部２の上端部とバック布４との間に架け渡されている。すなわち、肩ストラップ５の一端はカップ部２の上縁の脇側寄りの位置に縫着され、他端はバック布４に縫着されている。肩ストラップ５には長さ調整金具８を介設して着用者が肩ストラップ５の長さを適宜に調節できるようにしている。

【００２０】

カップ部２は、乳房の脇側上部寄りである脇上部分、乳房の前中心側下部寄りである前下部分、及びこれらの中間部分を覆うように形成され、外側の表布９、肌側の裏布（カップ布）１０、及び表布９と裏布１０との間に介在されたホルダ１１からなる。

【００２１】

表布９と裏布１０とは、略同じ大きさに形成され、乳房の脇上部分、前下部分及び中間部分を覆うように肌側に配置されている。カップ部２の上縁２ａであって表布９及び裏布１０の上縁は、乳房のトップ部の上側を通るように形成されている。カップ部２の下縁２ｂであって表布９及び裏布１０の下縁は、ワイヤ部６に沿ってワイヤ部６の前中心側末端より２～２．５ｃｍ後退した位置からワイヤ部６の脇側末端にかけてワイヤ部６に取り付けられている。一方、表布９及び裏布１０の上端部は肩ストラップ５に縫着されている。表布９及び裏布１０には、合成繊維や天然繊維の織布、編布等の素材が用いられる。なお、ブラジャー１の美感向上を図るため、表布９には例えばレース状の布（図示せず）が用いられることが好適である。

【００２２】

表布９と裏布１０との間に設けられたホルダ１１は、伸縮性のない素材からなり、脇上部分、前下部分及び中間部分を覆うように略三日月状に形成されている。ホルダ１１の上端部は、表布９及び裏布１０と共に肩ストラップ５に縫着されている。ホルダ１１の上縁１１ａは、乳房のトップ部の下側を通るように円弧状に形成され、表布９及び裏布１０に縫着せず表布９及び裏布１０から遊離している。ホルダ１１の下縁１１ｂは、表布９及び裏布１０と共に、ワイヤ部６に沿ってワイヤ部６の前中心側末端より２．１ｃｍ後退した位置からワイヤ部６の脇側末端にかけてワイヤ部６に取り付けられている。

【００２３】

カップ部２において、裏布１０の肌側には、乳房押上部材１２が設けられている。乳房押上部材１２は、発泡ポリウレタンのような保形性と復元性とを有する素材によって一体成形され、乳房の前下部分及び中間部分を覆う大きさになっている。

【００２４】

乳房押上部材１２の上縁１２ａは、乳房のトップ部の上側に通るように湾曲して形成され、表布９と裏布１０に縫着されている。乳房押上部材１２の下縁１２ｂは、ワイヤ部６に沿ってワイヤ部６の前中心側末端より２～２．５ｃｍ後退した位置から脇側末端より２ｃｍ後退した位置までの長さにわたって、ワイヤ部６に取り付けられている。これにより、下縁１２ｂの両端は、それぞれワイヤ部６の前中心側末端と脇側末端とから一定の距離

離れるようになっている。また、乳房押上部材１２の脇側端縁１２ｃは、凸形状に形成され、裏布１０を横断するように裏布１０に縫着されている。

【００２５】

そして、乳房押上部材１２は、乳房の前下部分及び中間部分を覆うように形成されているため、カップ部２における乳房の脇上部分に対応する脇上領域Ａは、表布９と裏布１０とホルダ１１とからなる。脇上領域Ａの大きさは、カップ部２の大きさの約１／３程度を占めている。

【００２６】

図３に示すように、乳房押上部材１２において、乳房のトップ部より下側に対応する領域Ｂは、最も厚く形成されている。これにより、着用時に乳房のボリュームを下方から前中心側の上方向に効果的に押し寄せることが可能になり、自然な丸みを造形することができる。

【００２７】

また、ブラジャー１のカップ部２の立ち上がりは、従来のブラジャーより低く形成されている。図４に示すように、外力を受けない状態で土台部３を水平とした場合に、水平線Ｌ１と、カップ部２の立ち上がりにおける輪郭の接線Ｌ２とがなす角度をαとしたときに、角度αは３０°～４０°の範囲にある。この場合には、ブラジャー１の高さは従来のブラジャーより低いので、収納しやすくなる。

【００２８】

このように構成されたブラジャー１において、カップ部２は、肌側の裏布１０と外側のホルダ１１と裏布１０の肌側に配置された乳房押上げ部材１２とからなり、乳房押上部材１２の下縁１２ｂはワイヤ部６に取り付けられ、裏布１０とホルダ１１とは、それらの下縁がワイヤ部６に沿ってワイヤ部６の前中心側末端より２．１ｃｍ後退した位置から脇側末端にかけてワイヤ部６に取り付けられ、それらの上端部が肩ストラップ５に連結されているため、図５に示すように着用状態において、肩ストラップ５による引き上げ力Ｆ１は、裏布１０及びホルダ１１を介して乳房押上部材１２に伝え、ワイヤ部６を支点とし乳房押上部材１２を前中心側の上方向への持ち上げ力Ｆ２に変換する。従って、乳房のボリュームを下脇方向から前中心側の上方向に効果的に押し上げることが可能となる。

【００２９】

また、乳房押上部材１２の下縁１２ｂの両端は、それぞれワイヤ部６の前中心側末端と脇側末端とから一定の距離離れているので、肩ストラップ５からの引き上げ力Ｆ１は、ワイヤ部６の湾曲によってワイヤ部６に分散されず、裏布１０及びホルダ１１を介して集中的に乳房押上部材１２に伝え、効率よく前中心側の上方向への持ち上げ力Ｆ２に変換することができ、乳房押上部材１２を効率良く引き上げることができる。ここで、乳房押上部材１２において、前中心側の上方向への持ち上げ力Ｆ２により、ホルダ１１と重なる部分では乳房のボリュームを押上げる力が生じ、乳房のボリュームを下脇からカップ部２の前中心側の上方向に持ち上げることができ、ホルダ１１と重ならない部分では、乳房押上部材１２の保形性と復元性による跳ね返す力が生じ、乳房のトップ部近傍のボリュームを押上げることができる。その結果、乳房のボリュームを確実に前中心側の上方向に移動させ、美しい乳房のシルエット及び豊かな谷間を形成することができる。

【００３０】

さらに、カップ部２における乳房の脇上部分に対応する領域Ａは、表布９と裏布１０とホルダ１１とからなるので、脇側へ逃げがちな乳房のボリュームを脇上で適度に受け止めて、前中心側に押し寄せることができる。その結果、左右乳房のボリュームが横に流されず、前中心側で互いに寄り添うことで、乳房に膨らみを持たせて魅力的な谷間を形成すると共に、美しい乳房のシルエットを形成することができる。

【００３１】

このように下脇から乳房のボリュームを前中心側の上方向に効果的に押し上げ、確実に美麗な乳房シルエット及び豊かな谷間を造形することができるため、カップ部における乳房の前下部分及び中間部分に対応する領域を小さくすることが可能となる。従って、例え

ばカップ部２の前中心部分を縮小することで、カップ部２により覆われる乳房の領域を少なくすることができ、従来のブラジャーと比べて優れた開放感を得られると共に、胸元を美しく見せることができる。

【００３２】

（第２実施形態）

図６～８に示すように、第２実施形態に係るブラジャー１５は第１実施形態との相違点は、乳房押上部材がカップ部１６に縫着された第１のパッド１３と、カップ部１６に対し着脱自在に設けられた第２のパッド１４とからなることである。その他の構成は、ブラジャー１の構成と同等であるため、同一符号を付して重複説明を省略する。

【００３３】

カップ部１６の裏布１０の肌側には、第１のパッド１３が設けられている。この第１のパッド１３は、シート状の芯材１３ｄと芯材１３ｄを包む布材１３ｅとを貼り合わせることにより形成され、着用時に乳房の前下部分及び中間部分を覆う大きさになっている。第１のパッド１３の上縁１３ａは、乳房のトップ部の上側に通るように湾曲して形成され、表布９と裏布１０に縫着されている。下縁１３ｂの両端は、それぞれワイヤ部６の前中心側末端と脇側末端とから一定の距離離れている。また、第１のパッド１３の脇側端縁１３ｃは、凸形状に形成され、裏布１０を横断するように裏布１０に縫着されている。なお、芯材１３ｄとして、ブラジャー１の乳房押上部材１２と同様に発泡ポリウレタンのような保形性と復元性とを有する素材が用いられる。

【００３４】

また、第１パッドの１３の肌側には、第２のパッド１４を収納するための収納袋１７が設けられている。この収納袋１７は、上方向に向かって開口され、左側端縁１７ａと右側端縁１７ｂとは第１のパッド１３に縫着され、下縁１７ｃは第１のパッド１３と共にワイヤ部６に取り付けられている。収納袋１７は、肌に直接に触れるため、例えばコットンのような肌触りや吸湿性の優れた素材からなる。

【００３５】

第２のパッド１４は、第１のパッド１３と同様にシート状の芯材１４ａと芯材１４ａを包む布材１４ｂとを貼り合わせることにより形成されている。そして、第２のパッド１４を収納袋１７に収容したり、あるいは収納袋１７から取り出したりすることで、カップ部１６に対し着脱自在になっている。

【００３６】

また、図８に示すように、カップ部１６の上縁部１６ａは、肌側に向けて湾曲するように形成されている。このようにすれば、横に流れがちの乳房のボリュームを前中心側で適度に受け止めて上方に寄せ上げることで、自然な丸みを造形する効果を高めることができる。

【００３７】

このような構成により、ブラジャー１５は、第１実施形態と同様な効果が得られるほか、乳房押上部材がカップ部１６に縫着された第１のパッド１３と、カップ部１６に対して着脱自在に設けられた第２のパッド１４とからなるため、必要に応じて第２のパッド１４を取り付けたり、はずしたりすることにより、乳房の膨らみを調整することができる。

【００３８】

本発明は、上記の実施形態に限定されず、種々の態様が可能である。例えば、ブラジャーに限らず、ブラトレス、ブラスリップ、ブラキャミソール、ボディスーツなどにも適用できる。また、フロントホック型のブラジャーにも適用可能である。

【図面の簡単な説明】

【００３９】

【図１】第１実施形態に係るブラジャーを示す正面図である。

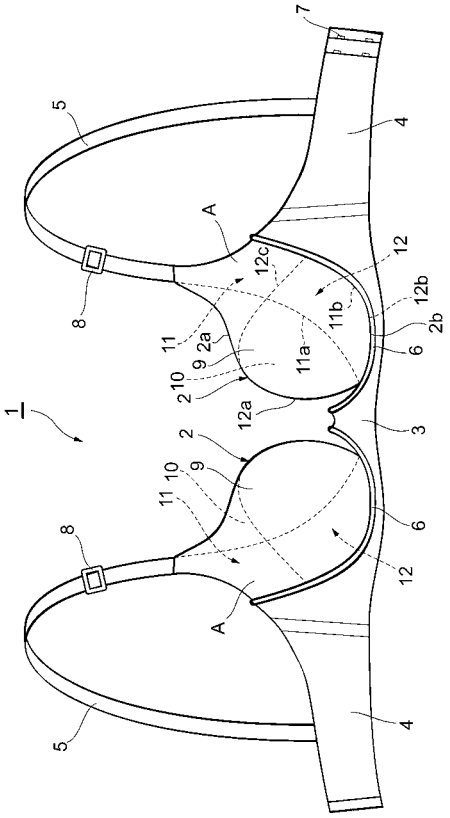
【図２】図１に示されたブラジャーの肌側の斜視図である。

【図３】図１のIII－III線に沿った断面斜視図である。

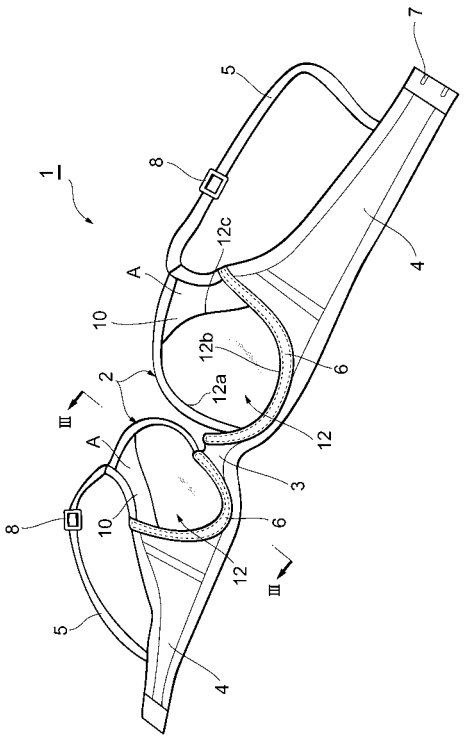
【図４】図１に示されたブラジャーの側面図である。

【図５】ブラジャーを着用した状態を示す正面図である。
【図６】第２実施形態に係るブラジャーを示す正面図である。
【図７】図６に示されたブラジャーの肌側の斜視図である。
【図８】図７のVIII－VIII線に沿った端面図である。
【符号の説明】
【００４０】
１，１５…ブラジャー、２，１６…カップ部、３…土台部、５…肩ストラップ、６…ワイヤ部、９…表布、１０…裏布（カップ布）、１１…ホルダ、１２…乳房押上部材、１３…第１のパッド、１４…第２のパッド。

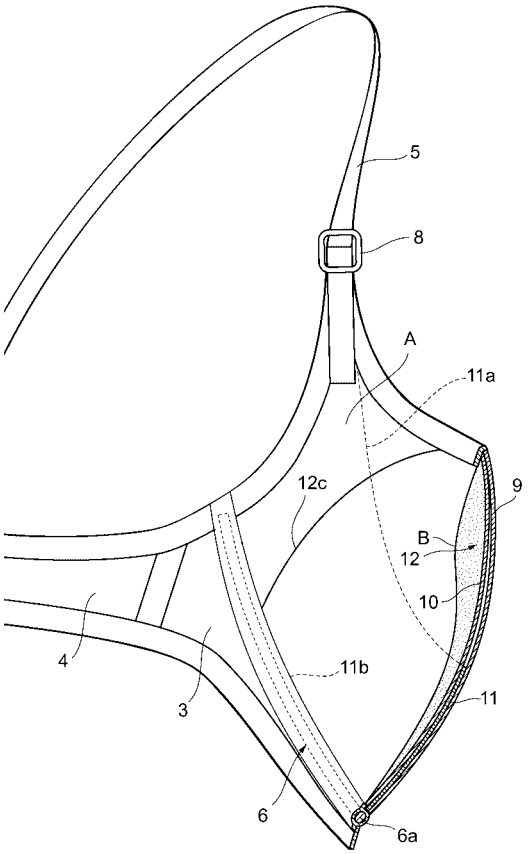
【図１】



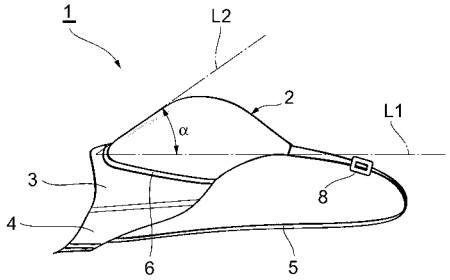
【図２】



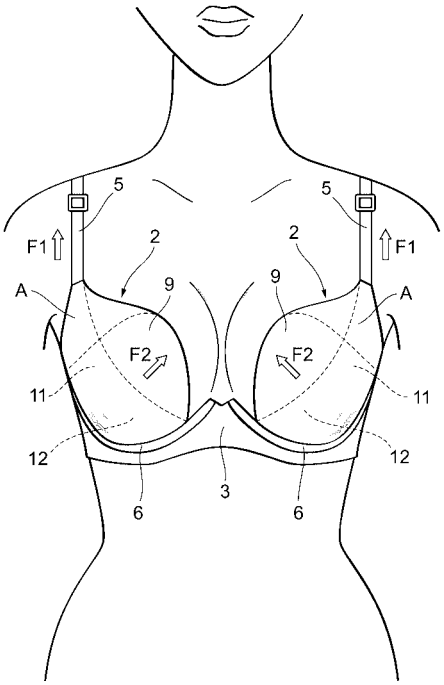
【図３】


5
8
A
11a
12c
9
B
12
10
4
11b
3
11
6
6a

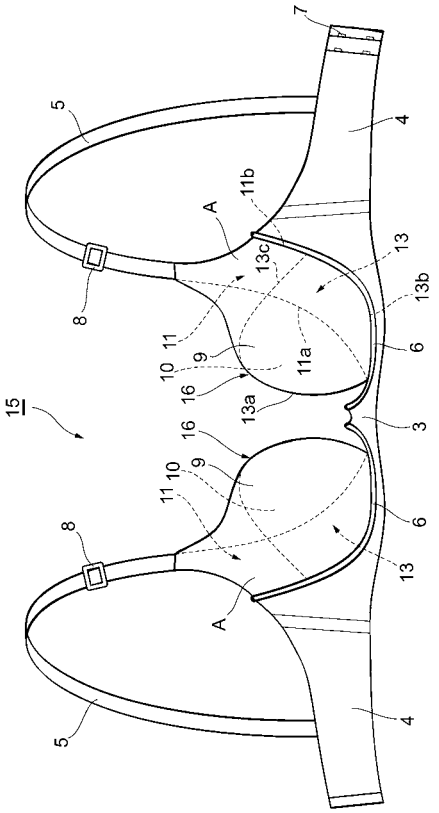
【図４】


1
L2
2
L1
α
3
8
4
6
5

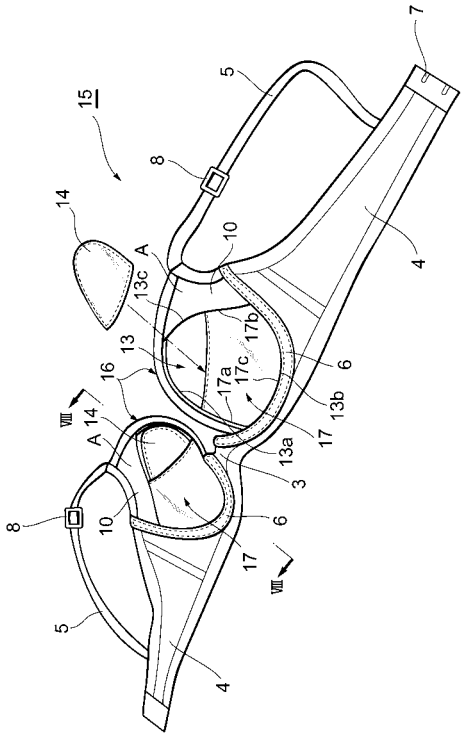
【図５】


5
5
F1
F1
2
2
A
9
9
A
F2
F2
11
11
12
12
6
3
6

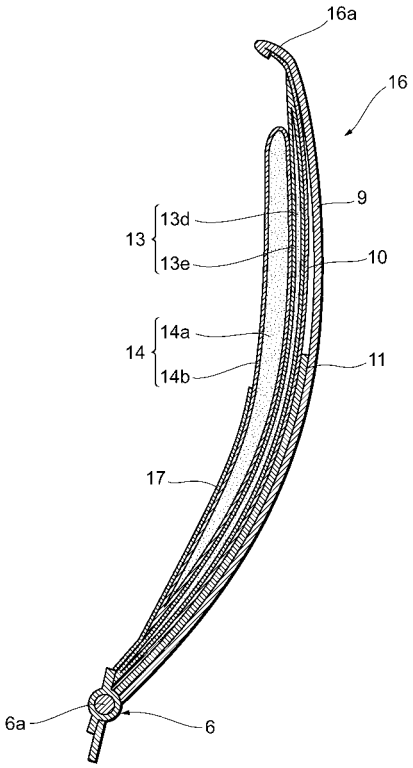
【図６】


7
5
4
A
11b
13
13c
13b
8
11
10
9
11a
6
16
13a
15
3
16
10
9
11
6
8
13
A
5
4

【図７】


15
7
5
8
14
A
13c
10
4
13
17b
16
17a
17c
6
VIII
14
13b
A
17
13a
3
8
10
6
17
VIII
5
4

【図８】


16a
16
9
13
13d
13e
10
14
14a
14b
11
17
6a
6

フロントページの続き

(72)発明者　諸富　裕子
京都府京都市南区吉祥院中島町２９番地　株式会社ワコール内

Ｆターム(参考) 3B131 AA15 AA16 AA22 AB03 AB04 AB06 BA04 BA11 BA21 BA24
BB05 BB08 CA01 CA11 CA20 CA21 CA22 CA23 CA37